

24 県経評第 1 号
平成 24 年 4 月 17 日

福島県病院事業管理者
高地 英夫 様

県立病院事業経営評価委員会
委員長 竹之下 誠一

県立病院改革プラン取組状況の評価について

このたび、県から示された「平成 23 年度の改革プラン進捗状況（中間報告）」については、概ね妥当であると評価できます。

また、より住民の視点に立った県立病院の経営改善を進める観点から、当委員会設置要綱第 2 条の規定に基づき、下記のとおり助言します。

記

1 収益確保に向けた取組について

- 手術件数の増加やDPCへの対応などによる収益確保を引き続き行う必要がある。
- ジェネリック薬品について、使用を推進する必要がある。

など

2 医療機能の充実強化について

- 医療情報システム構築への先行投資を引き続き計画的に行う必要がある。
- 地域医療機関との連携や役割分担の下、地域の医療ニーズに応じた診療体制の構築に努める必要がある。
- 「WHY（なぜ）？」の観点を取り入れながら改善活動を進める必要がある。

など

3 人材育成・確保について

- 医師、看護師等の医療スタッフや事務職員など、全ての職員が一丸となってチーム医療や経営に対する意識改革等を推進するため、職員の教育訓練を引き続き行う必要がある。
- 内部人材活用による研修や自己評価による意識改革を引き続き進める必要がある。

など

4 地域医療機関との連携強化について

- 緩和ケアなどについて、地域医療機関との双方向のコミュニケーションを図る必要がある。
- 地域包括支援センターとの十分な連携など、認知症や精神疾患への対応を図る必要がある。

など

平成 24 年度の取組（中間報告）

1 収益確保に向けた取組について

- 手術件数の増加
⇒手術件数（H23.10 累計：1,998 件、H24.10 累計：2,449 件）[資料 3-1](#)
⇒手術料（H23.10 累計：406,633 千円、H24.10 累計：623,300 千円）
- ジェネリック薬品の使用推進
⇒後発品採用率の向上（H23：9.79%、H24.9：9.85%）[資料 3-2](#)
- 施設基準の取得
⇒感染防止対策加算 1（H24.6 取得、見込額：19,500 千円/年間）〔会津総合病院〕
⇒感染防止対策地域連携加算（H24.6 取得、見込額：4,836 千円/年間）〔同上〕

2 医療機能の充実強化について

- 医療情報システム部門の充実
⇒電子カルテシステムを導入し、平成 24 年 10 月に稼働〔南会津病院〕
⇒地域医療連携ネットワークシステムを導入し、平成 25 年 3 月に稼働予定〔南会津病院〕
- 地域の医療ニーズに応じた診療体制の構築
⇒循環器内科を平成 24 年 7 月より月 1 回開設〔宮下病院〕
◇外来延べ患者数（H24.11 累計患者数：27 人）
⇒午後診療開始時間の繰り上げ（14 時 30 分→14 時 00 分）〔同上〕
⇒小児科の常勤医師を昨年度に引き続き配置〔南会津病院〕
◇外来延べ患者数（H23.10 累計：2,334 人、H24.10 累計：3,661 人）
- 業務改善に向けた取組の推進
⇒課題・目標管理の実施（取組：25 件、うち表彰：7 件）〔会津総合病院〕[資料 3-3](#)
⇒職場改善活動の実施（取組：16 件）〔宮下病院〕[資料 3-3](#)

3 人材育成・確保について

- 資質向上に向けた環境づくり
⇒各種研修会の開催 [資料 3-4](#)、[資料 3-5](#)
- 職員の意識改革
⇒課題・目標管理の実施（取組：25 件、うち表彰：7 件）〔会津総合病院〕※再掲
⇒職場改善活動の実施（取組：16 件）〔宮下病院〕※再掲

4 地域医療機関との連携強化について

- 地域医療機関等とのコミュニケーションの充実
⇒医師会が主催する研修会への講師派遣〔会津総合病院〕
⇒地域の福祉施設職員等との合同ケア会議の開催〔宮下病院〕
⇒地域医療連携室の設置（H24.11 設置）〔同上〕
⇒南会津医療・介護・福祉懇談会の開催〔南会津病院〕
- 地域生活への移行推進〔矢吹病院〕
⇒福祉ホーム及び生活訓練施設等との連携促進（対象者：16 名、地域移行者：9 名）
⇒精神科救急医療システムの救急輪番対応（H24.11 累計：44 回）
及び入院の受入（H24.11 累計：10 件）
- 認知症教室の開催（H24.11 累計：6 回）〔会津総合病院〕

24年度 手術件数 (10 月累計)

(単位: 件数)

病院名	科名	月												計	うち手術室での件数	対前年度	増減
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
矢吹	精神科	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2
喜多方	内科	10	5	8	7	8	7	14	0	0	0	0	0	59	3	73	▲ 14
	外科	7	11	9	11	5	1	0	0	0	0	0	0	44	4	67	▲ 23
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	皮膚科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	▲ 2
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	▲ 3
	計	17	17	17	19	13	8	14	0	0	0	0	0	105	7	146	▲ 41
津	内科	40	55	72	73	83	77	93	0	0	0	0	0	493	18	248	245
	外科	42	46	55	60	55	52	58	0	0	0	0	0	368	225	246	122
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科	33	42	49	66	55	50	69	0	0	0	0	0	364	312	216	148
	皮膚科	0	3	7	5	4	1	4	0	0	0	0	0	24	3	27	▲ 3
	泌尿器科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	7	▲ 5
	耳鼻咽喉科	11	5	14	13	17	5	18	0	0	0	0	0	83	33	30	53
	眼科	1	7	6	3	1	4	5	0	0	0	0	0	27	2	35	▲ 8
	歯科	17	13	12	10	11	14	23	0	0	0	0	0	100	0	74	26
計	144	171	216	230	226	204	270	0	0	0	0	0	1,461	593	883	578	
宮下	内科	5	2	4	2	5	1	3	0	0	0	0	0	22	0	15	7
	外科	5	14	11	6	14	10	7	0	0	0	0	0	67	1	54	13
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	▲ 2
計	10	16	15	8	19	11	10	0	0	0	0	0	89	1	71	18	
南会津	内科	10	16	14	11	19	12	12	0	0	0	0	0	94	2	114	▲ 20
	外科	34	42	45	43	44	66	56	0	0	0	0	0	330	76	342	▲ 12
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	▲ 1
	小児科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	整形外科	46	48	40	30	38	29	57	0	0	0	0	0	288	134	323	▲ 35
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	▲ 1
	耳鼻咽喉科	7	10	14	9	18	3	5	0	0	0	0	0	66	10	79	▲ 13
計	100	116	113	99	119	112	132	0	0	0	0	0	791	222	897	▲ 106	
合	内科	65	78	98	93	115	97	122	0	0	0	0	0	668	23	450	218
	外科	88	113	120	120	118	129	121	0	0	0	0	0	809	306	709	100
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	▲ 1
	小児科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	整形外科	79	90	89	97	93	79	126	0	0	0	0	0	653	446	539	114
	皮膚科	0	4	7	5	4	1	4	0	0	0	0	0	25	3	31	▲ 6
	泌尿器科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	7	▲ 5
	耳鼻咽喉科	18	15	28	22	35	8	23	0	0	0	0	0	149	43	111	38
	眼科	3	7	6	9	1	6	6	0	0	0	0	0	38	2	73	▲ 35
	歯科	17	13	12	10	11	14	23	0	0	0	0	0	100	0	74	26
計	271	322	361	356	377	336	426	0	0	0	0	0	2,449	823	1,998	451	

後発医薬品の採用状況

○契約品目ベース(後発品割合=後発品契約数/全体契約数)

	平成24年度(9月末現在)			平成23年度			差引			平成22年度		
	全体	後発品	後発品割合	全品目	後発品	後発品割合	全品目	後発品	後発品割合	全品目	後発品	後発品割合
矢吹病院	1,040	74	7.12%	1,023	75	7.33%	17	▲ 1	▲ 0.21	949	65	6.85%
喜多方病院	1,145	189	16.51%	1,126	185	16.43%	19	4	0.08	1,091	164	15.03%
会津総合病院	2,059	132	6.41%	2,048	127	6.20%	11	5	0.21	1,629	117	7.18%
宮下病院	818	145	17.73%	809	144	17.80%	9	1	▲ 0.07	745	125	16.78%
南会津病院	1,243	81	6.52%	1,225	79	6.45%	18	2	0.07	1,141	68	5.96%
計	6,305	621	9.85%	6,231	610	9.79%	74	11	0.06	5,555	539	9.70%

平成23年度課題・目標管理受賞者一覧

会津総合病院

各賞	部署名	課題・目標
院長賞	看護部中央手術室	安全・安楽な手術体位マニュアルの作成
優秀賞	化学療法プロジェクトチーム	レジメンを利用した化学療法の推進
奨励賞	漢方内科	漢方内科診療に関するシステム化
	N S T委員会	N S Tに関する情報共有と情報発信機能の強化
努力賞	医療安全感染対策室	尿道留置カテーテル関連感染サーベイランスの導入
	病理診断科	標準的turn around timeの達成
	看護部看護師長会児島ブロック	病院機能評価の視点に立った看護部の課題への取り組み

平成24年度「職場改善活動」の主な取組内容

宮下病院

No.	部門	テーマ	活動の趣旨、目標
1	放射線	緊急撮影マニュアルの再考	<p>〔趣旨〕 当院では、時間外のX線撮影を当直医が撮影することになっているが、サーバの更新に伴い、若干の変更が生じたため、当直医が混乱を来さないようにマニュアルを再考する。</p> <p>〔目標〕 点在する救急マニュアルを1つにまとめ、早急に新マニュアルを作成する。</p>
2	看護部	当院の臨床ラダーシステムの確立	<p>〔趣旨〕 県立病院では、看護の質の向上に向けて臨床ラダーシステムを導入しているが、その方法は各病院により異なり、当院では毎年臨床ラダーシステム共通項目の評価表をもとに評価していた。 他の病院では、病院の特徴を踏まえ、独自に評価項目を設定したり、申請基準や運用手順を作成し、臨床ラダーシステムを確立していることから、当院においても他病院のシステムを参考としながら、臨床ラダーシステムを確立し看護の質の向上を図る。</p>
3	看護部 外来	健診業務戦略	<p>〔趣旨〕 当院では、毎月6月から協会けんぽや町役場の健診を実施している。検診日には、一日に1～3名の対象者がいるが、一般外来と同じ場所で行うため、混乱する時もある。 限られたスタッフ数と環境で、スムーズに安全に健診業務を行うため、業務改善に取り組み、業務フロー等のマニュアルを作成する。</p>
4	薬剤部	外来患者における持参薬の整理と服薬指導	<p>〔趣旨〕 外来患者には多くの薬が処方されているが指示通り服用しているとは限らず、正しく服用したつもりでも必ず余ってしまうものである。 そこで、服薬に不安のある患者や薬が余っていると言う患者さんに対して、外来受診時、自宅にある薬を持参してもらい残薬の整理と服薬の指導を行うものである。 また、残薬の種類や数量を医師に伝えることにより、必要とされる薬のみの処方が可能となる。 自宅に残る薬を把握し適切に服薬指導を行うことで、服薬の意識や薬の管理能力を高め、最適な薬物療法を支援し、患者さんの薬代の軽減や病院の薬品費圧縮にも寄与する。</p>
5	事務部	「いいね！カード」を使用した患者サービスの向上	<p>〔趣旨〕 職員の取った患者さん等に対するちょっとした気配りや他の職員の見本となるような行動を、「いいね！カード」を使用して院内に紹介することにより、職員間でサービスの情報を共有化するとともに良いサービスを提供しようとする意識を醸成し、患者サービスの向上を図る。 また、職員同士のコミュニケーション及びチームワークの向上を図り、職員同士がお互いの良いところを認め、称え合う良好な職場環境を作る。</p>

平成24年度県立病院コメディカル研修実績について

24. 10. 1 病院経営改革課

- **看護職員：クリニカルラダーレベル別研修** 年4回 (主催：病院局)
 - ※ 24年度の研修テーマは「経営参画」(テーマはH22～H24まで3年間同じ)
 - 25年度のテーマは「継続看護」に決定

- **看護研究発表会** 年1回 (主催：病院局)
 - ※「24年度 日本看護学会・学術集会」(全国学会)で1名発表 (南会津)

- **看護管理者研修**
 - (1) ファーストレベル研修 25日間 6名派遣
(矢吹1・喜多方1・会津3・宮下1)
 - ※ 対象：専門看護技師・主任看護技師
 - (2) セカンドレベル研修 40日間 1名派遣 (会津)
 - ※ 対象：専門看護技師・看護師長
 - (3) 看護管理(看護師長コース)研修 3日間 1名派遣 (宮下)
 - ※ 対象：看護師長

- **認定看護師派遣研修** 3名派遣

- **ホスピス緩和ケア研修** 35日間 1名派遣 (会津)
 - ※ 対象：緩和ケアに携わる看護技師
 - ※ 研修場所：東京都 社会福祉法人 聖ヨハネホスピスケア研究所

- **SSTフォローアップ研修** 1日間 3名派遣 (矢吹)
 - ※ 対象：精神科リハビリテーションに関わる看護師で「SSTリーダー養成研修」を既に受講している者

- **CVPPP(包括的暴力防止プログラム)研修** 4日間 2名派遣 (矢吹)
 - ※ 対象：精神科の臨床経験を有する看護師で「医療観察法病棟」勤務予定者。

- **臨床病理研修** 2日間 2名派遣 (会津)
 - ※ 対象：組織診・細胞診の実施に携わる医療技師で「細胞検査技師」の資格取得を目指す者。
 - ※ 研修場所：千葉県 さんむ医療センター

- **認定輸血検査技師資格取得** 7日間 1名派遣（会津）
 - ※ 対象：検査技師経験が5年以上かつ輸血部門に3年以上携わった経験がある医療技師
 - ※ 研修場所：東京都 東京女子医科大学病院・日本赤十字社

- **臨床輸血看護師資格取得** 3日間 2名派遣（会津）
 - ※ 対象：臨床経験が3年以上かつ輸血部門に携わっている看護技師
 - ※ 研修場所：東京都 東京医科歯科大学

- **糖尿病療養指導士会講習会** 3日間 1名派遣（矢吹・管理栄養士）
 - ※ 対象：臨床経験が2年以上の医療職で「日本糖尿病療養指導士（CDEJ）」の資格取得を目指す者。

- **労働安全衛生法に基づく資格取得** 1日間
 - ① 第一種衛生管理者講習会 2名派遣（矢吹1・会津1）
 - ② 特定化学物質作業主任者講習会 1名派遣（会津）

平成24年度 教育企画計画 【実施状況】

研修名 対象者	実施日	研修の目的	成長のねらい	演題 or 項目	講師	募集人数	担当委員	会場
レベルⅣ-2 研修会 ・看護師長 ・専門助産技師 兼看護技師 ・専門看護技師	7/5(木) 10:00~16:00	県立病院を取り巻く状況を理解し、 県立病院の職員として経営参画する こと、県立病院看護部理念に基づく 看護管理ができること、人材育成が できること等が求められている。 本研修を通じ、これらの修得及び 確認を行い、自覚と責任を持つこと を目的とする。	・経営参画の視点で現状分析し 自らの実践能力向上をはかる。 ・職場診断の結果をふまえ、自 分の病院の経営参画に対する 行動化	・県立病院の現状 【講義時間】10:00~10:40 ・情報交換(GW) 【GW時間】10:40~14:30 ・「看護師長・専門看護技師の立場で の経営参画について」 【講義時間】14:50~16:00	・病院局 病院事業管理者 ・県立会津総合病院 副院長兼看護部長 斎藤礼子	専門看護技師兼看護師長 5名 専門助産技師兼看護技師 1名 専門看護技師 6名 計 12名	薩佐 喜美子 (南会津) 石川 敬子 (会津総合)	中町会館 6階 南会議室
レベルⅣ-1 研修会 ・主任助産技師 兼看護技師 ・主任看護技師 (40歳以上) (相当職)	8/29(水) 10:00~16:00 9/14(金) 10:00~16:00	県立病院を取り巻く状況を理解し、 所属する病院の職員として経営参画 すること、また、主任として看護管理 を学びその実践をする能力等が求め られている。 本研修を通じ、これらの修得及び 確認を行い、自覚と責任を持つこと を目的とする。	・看護管理能力の向上 ・業務改善をとおし自分の病院 の経営参画に対する行動化	・県立病院の現状 【講義時間】10:00~10:40 ・情報交換(GW) 【GW時間】10:40~14:30 8/29(水) ・「地域医療と私たちの役割」 【講義時間】14:50~16:00 9/14(金) ・「演題未定」 【講義時間】14:50~16:00	・病院局 病院事業管理者 ・福島県看護協会 会長 高橋京子 ・いわき市立総合磐城共立病院 副院長兼看護部長 坂元和子	主任助産技師兼看護技師 1名 主任看護技師 23名 計 24名 主任助産技師兼看護技師 3名 主任看護技師 21名 計 24名	菅野 慎一 (矢吹) 佐藤 洋子 (喜多方) 石川 敬子 (会津) 遠藤 孝子 (宮下)	自治会館 3階 303 会議室 自治会館 3階 303 会議室
レベルⅢ 研修会 ・主任助産技師 兼看護技師 ・主任看護技師 (40歳未満) (相当職) ・副主任助産技師 兼看護技師 ・副主任看護技師 (相当職)	7/18(水) 10:00~16:00	県立病院を取り巻く状況を理解し、 所属する病院の職員として経営参画 すること、また、副主任及び主任として 看護管理を学びその実践をする能力 等が求められている。 本研修を通じ、これらの修得及び 確認を行い、自覚と責任を持つことを 目的とする。	業務改善をとおし自分の病院 の経営参画に対する行動化	・県立病院の現状 【講義時間】10:00~10:40 ・情報交換(GW) 【GW時間】10:40~14:30 ・「看護師の視点での経営参画」 【講義時間】14:50~16:00	・病院局 病院事業管理者 ・県立大野病院 主査 國島郁行	主任助産技師兼看護技師 主任看護技師 10名 副主任助産技師兼看護技師 副主任看護技師 14名 計 24名	遠藤 孝子 (宮下) 菅野 慎一 (矢吹)	中町会館 6階 北会議室
レベルⅠ・Ⅱ 研修会 ・助産技師兼 看護技師 ・看護技師 (相当職)	7/5(木) 10:00~16:00	県立病院を取り巻く状況を理解し、 所属する部署の職員として経営参画 すること、看護実践者として質の高い 看護サービスを提供する能力が求め られている。 本研修を通じ、これらの修得及び 確認を行い、自覚と責任を持つこと を目的とする。	・質の高い看護サービス提供の ための自己研鑽力の向上 ・業務改善をとおし、自分の部署 の経営参画に対する行動化	・県立病院の現状 【講義時間】10:00~10:40 ・情報交換(GW) 【GW時間】10:40~14:30 ・「看護師として働きつづけるために」 【講義時間】14:50~16:00	・病院局 病院事業管理者 ・県立喜多方病院 看護部長 野口啓子	助産技師兼看護技師 1名 看護技師 11名 計 12名	薩佐 喜美子 (南会津) 石川 敬子 (会津総合)	中町会館 6階 南会議室